

令和6年度 釧路公立大学地域経済セミナー

巨大な炭素貯蔵庫である 泥炭湿原の重要性

泥炭とは、地下水位が高い湿原で植物遺体が分解せず、それらが数千年にわたって少しずつ堆積してできた土壌で、地球全体の土壌炭素の約40%を保持しています。しかし、開発などで地下水位が下がると、泥炭が分解して大量の二酸化炭素が大気中へ放出されることになります。

そこで本セミナーでは、北海道大学大学院農学研究院・教授の平野 高司 氏をお招きし、釧路湿原などの泥炭湿原における炭素および温室効果ガスについてお話しいたします。

日時 令和7年2月13日(木) 15時30分～17時00分

会場 釧路公立大学 1階 第1会議室（釧路市芦野4丁目1番1号）

講師 平野 高司 氏

（北海道大学 大学院農学研究院 教授）

北海道大学農学部農業工学科卒業，博士（農学）（大阪府立大学），（財）日本気象協会，大阪府立大学農学部助教授，北海道大学大学院農学研究院准教授を経て現職。日本学術会議連携会員，国立環境研究所客員研究員などを併任。日本農業気象学会会長，日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員などを歴任。



申込 令和7年2月7日（金）までに、右QRコードの申込フォームよりお申込みいただくか、別紙申込書をご記入のうえEメール等でお送りください。

（申込書は地域経済研究センターのHPからダウンロードできます。）

※延期や中止、開催形態に変更が生じた場合は別途ご連絡します。



【共催】釧路総合振興局

【主催・問合先】釧路公立大学 地域経済研究センター

〒085-8585 北海道釧路市芦野4丁目1番1号 E-mail: r-center@kushiro-pu.ac.jp

TEL：0154-37-5325 FAX：0154-37-5376

